

薬剤部では、がん化学療法レジメン管理を行っている患者に対し、平成19年3月から外来、平成19年12月から入院の抗がん剤調製業務を開始しました。外来化学療法室に併設された調製室には無菌調製及び暴露を回避できるクラスIIの安全キャビネットが設置されています(右写真)。

調製業務を開始するにあたり、薬剤部で各種抗がん剤の特徴、輸液との配合変化や安定性の調査、調製練習等を行い、承認レジメン毎に制吐剤などを含めた支持療法をセットし、オーダ端末に登録しました。処方時は、セットレジメンを使用させていただくよう医師に依頼しています。なお、薬品費節減の観点から、より安価な抗がん剤の複数規格組み合わせを電子医薬品情報室に掲載し、処方鑑査の時点で医師に照会しています。

また、投与量、生涯投与量、休薬期間、点滴時間、配合変化、抗がん剤の投与順などオーダされた抗がん剤処方レジメンと異なっていないか、提出された投与スケジュール表と合致しているか等を事前にチェックした後、右写真のように複数の薬剤師で抗がん剤を無菌的に調製しています。右の表は、レジメン管理を行ったがん化学療法施行患者数の推移を示したのですが、入院・外来ともに増加していることが分かります。

ここ数年、期待の分子標的薬が承認され、治療面での向上が見込まれることから、より一層の充実を図る必要があると考えています。さらに、患者に安心して治療を受けていただくよう抗がん剤、支持療法、副作用、注意事項等説明しています。今後ともがん化学療法を推進していきたいと思っております。

薬剤師による抗がん剤の無菌調製



表 レジメン管理がん化学療法施行患者数

